

竜巻対策

発達した積乱雲からは、竜巻、ダウンバースト、ガストフロントといった、激しい突風や雷をもたらす現象が発生します。竜巻は、積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻きで、多くの場合、漏斗(ろうと)状または柱状の雲を伴います。



竜巻に遭遇した人からは次のような声を聞きます。このような場合には、あなたの身に危険が迫っています。

- ・雲の底から地上に伸びる漏斗(ろうと)状の雲を見た。
- ・飛散物が筒状に舞い上がるのを見た。
- ・ゴーという音がしたのでいつもと違うと感じた。
- ・気圧の変化で耳に異常を感じた。

竜巻注意情報 (気象庁)



大雪対策

大雪災害が発生した場合には公助だけでは対応が困難なことから、**自助・共助での取り組みが非常に重要**になります。まずは、家庭内や地域で大雪時の対応について話し合い、あらかじめ大雪に備えましょう。

路面凍結に注意

信号交差点	橋梁(橋げた)	トンネルなどの出入口
信号交差点のある箇所では、車が発進や停止を繰り返すことによって、圧雪や凍結路面が摩擦熱で解けて、タイヤとの間に水滴ができるため、路面が非常に滑りやすくなる可能性があります。	橋梁区間では、ほかの区間と異なり夜間には橋の下からも熱が奪われるので、路面の温度が低下しやすく、他の路面が凍っていないくても橋の上だけは凍結していることがあります。	トンネルなどの出入口は日陰になることが多く、局所的に路面が凍結している場合があります。周囲が雪景色の場合には、トンネルの中と外での明るさが極端に異なることで状況が見えにくくなることを踏まえ、トンネル出入口付近での突如の路面変化に備え、走行には注意しましょう。

大雪が降った場合

除雪作業の注意点	落雪に注意しましょう	外出は控えましょう	地域で助け合いましょう
雪かきスコップなどの除雪用具を用意しましょう。また、作業中は転倒や屋根雪の落下に注意しましょう。県・市町村は、所管する幹線道路を中心に、除雪作業を行います。住民の皆さんは、 自助・共助の精神に基づき自宅付近の除雪を行うなど通行の確保、孤立・閉じ込め状況の解消に協力してください。 ただし、個人敷地内も含め、 除雪した雪は事故やケガの元になりますので道路に出さないでください。	屋根の雪が解け始めると、 大きなかたまりになって落下する場合があります。 可能な限り屋根の雪を下ろすか、下に物を置かないようにしたり、通行者に注意を呼び掛ける表示をしましょう。歩行等通行中は足元に注意するとともに、頭上にも十分注意してください。	積雪時には不要不急の外出は極力控えてください。自動車等により雪が踏み固められると除雪が遅れ、交通障害の原因となります。	近所にひとり暮らしの高齢者や障がいのある方がいる場合は、地域で協力して助け合いましょう。

非常時持出品(例)

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

携帯ラジオ	救急医療品	非常用食品
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意) 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 常用している薬(持病の薬など) 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 感染症対策 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 手指の消毒液 <input type="checkbox"/> 体温計
ライト類	その他	各家庭に必要なもの
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> LEDランタン <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意) 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現金(小銭多めに) <input type="checkbox"/> ホイッスル(助けを呼ぶため) <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 歯ブラシ <input type="checkbox"/> スマートフォン・携帯電話の充電器 <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ラップフィルム(止血や食器にかがせて使う) <input type="checkbox"/> 割りばし <input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 耳栓・アイマスク 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 赤ちゃん用品(ミルク・離乳食・おむつなど) <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> コンタクトレンズ・めがね <input type="checkbox"/> 入れ歯・補聴器 <input type="checkbox"/> リュックサック

非常時備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低限3日、推奨7日)を生活できるようにしましょう。

飲料水	非常用食品	燃料	その他
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットルを目安に) <input type="checkbox"/> 貯水したタンク 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> お米(アルファ米も便利) <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> 梅干し・調味料 <input type="checkbox"/> ドライフーズ・飴・チョコ(菓子類など) 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 卓上コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 生活用水(風呂などに貯水) <input type="checkbox"/> 毛布・寝袋・洗面用具 <input type="checkbox"/> 調理器具(なべ・やかんなど) <input type="checkbox"/> パケツ・各種アウトドア用品 <input type="checkbox"/> 歯みがきセット・ひげそり

避難するときはこんな格好で

- ヘルメット(防災ずきん)をかぶる
- 軍手や手袋をはめる
- 長そで・長ズボン着用 燃えにくい木綿製品がよい
- 靴は底の厚い、はき慣れたものをはく
- 非常時持出品はリュックサックに入れて背負う

帰宅困難に備えよう

大地震が発生した場合、交通機関の途絶によって自宅に戻れない「帰宅困難者」になる可能性があります。勤務先や学校から徒歩で帰宅することを想定し、日ごろから準備しておきましょう。

防災グッズを用意する

携帯ラジオ、ヘルメット(防災ずきん)、スニーカー、非常用食品、懐中電灯、革手袋、地図、寒暖対策用品など。

帰宅地図を用意する

災害の状況によっては、道路が通行不能になる場合があるので、複数の帰宅ルートを決めておくことによいでしょう。

家族との連絡方法を決めておく

地震が発生すると、家族や親戚とは簡単に連絡をとることができません。事前に以下のような項目に関して、家族全員で確認しておくことが重要です。

- 災害時の安否確認の方法
- 家族の集合場所
- 徒歩帰宅する場合のルート